

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語リーディング・ライティング		NLA11_021	選択	1	1・2	前期
担当教員		研究室	電子メールID	オフィスアワー		
風間 絢日		415	ayaka.kazama			
授業の目的・概要	英語での発信力を身に着けることで多文化社会におけるコミュニケーション力を上げることを目指す。文法や語彙の基礎能力を身に着けることを通じて英文を正確に理解し、英語で表現する能力を養う。実際に英文を書く練習を行い、自分の考えをまとも英語で表現する方法を習得する。					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()					
学習上の助言	語学力の向上には豊富なインプットが鍵となるため、積極的に英語に触れる機会を持つよう心がけること。また少しずつでもよいので毎日英語でアウトプットをすることを推奨する。					
教科書	Easy Writing Output!/著:Kazuya Kito, Masaaki Ogura/金星堂/2021					
参考書	特になし					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	英語の文の構造を正しく見分けることができる。			HSU(2)(5),NS(2)(3)		
②	平易な英文を読んで正しく理解することができる。			HSU(2)(5),NS(2)(3)		
③	自分の考えをまとめ、英語で表現することができる。			HSU(2)(5),NS(2)(3)		
④	習得した文法を正しく用いて英文を書くことができる。			HSU(2)(5),NS(2)(3)		
⑤	習得した語彙を適切に使って英文を書くことができる。			HSU(2)(5),NS(2)(3)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	ガイダンス:授業内容と学習方法について、また英文の構造について学習する。	講義	学習目標を確認し、英文の構造について理解する。	1		
2	Unit 1:好きな場所を大まかに説明する。	講義	動詞の現在形を用いて英文を作成する。	1		
3	Unit 2:好きな場所を詳しく説明する。	講義	接続詞を用いて英文を作成する。	1		
4	Unit 3:日頃の習慣を説明する。	講義	順序を表す表現を用いて英文を作成する。	1		
5	Unit 4:ものを作る手順を説明する。	講義	Unit 1 から Unit 3 までの文法事項を用いて英文を作成する。	1		
6	Unit 5:過去の出来事を説明する。	講義	動詞の過去形を用いて英文を作成する。	1		
7	Unit 6:ものや人の位置を説明する。	講義	時間の接続表現を用いて英文を作成する。	1		
8	Unit 7:自分の体験を説明する。	講義	前置詞句を用いて英文を作成する。	1		
9	Unit 8:ものや人をくり返し説明する。	講義	代名詞を用いて英文を作成する。	1		
10	Unit 9:自分の体験を説明する。	講義	Unit 5 から Unit 8 までの文法事項を用いて英文を作成する。	1		
11	Unit 10:過去を詳しく説明する。	講義	過去形や過去進行形を用いて英文を作成する。	1		
12	Unit 11:未来のことを説明する。	講義	未来を表す表現を用いて英文を作成する。	1		
13	Unit 12:具体例を説明する。	講義	具体例を示す表現を用いて英文を作成する。	1		
14	Unit 13:意見を主張する。	講義	助動詞を用いて英文を作成する。	1		
15	Unit 14:気持ちや考えの変化を表現する。	講義	Unit 10 から Unit 13 までの文法事項を用いて英文を作成する。	1		
試	達成度評価・評価のポイント参照					

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		30	30	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	10	10	0	0	10	30
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	10	10	0	0	10	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を見発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施し、授業で学習した内容の定着度について総合的に評価を行う。				試験の評価
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①		授業時間内に教科書の内容にそった英作文を作成し提出する。				提出された英作文の添削および返却
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	単に出席するだけでなく、積極的に授業に臨む姿勢が求められる。授業中の態度や参加度も評価の対象となる。				授業内の教員によるコメントおよび助言
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	カナダの大学にて学位取得、タイの大学の英語プログラムにて修士過程を修了した後、外国人患者を多く受け入れるタイの私立総合病院にて8年間勤務し、医療コーディネーション業務などを行う。日本帰国後は大学にて語学試験対策や英語学習の指導などに従事するとともに医療通訳者の育成・普及活動に携わる。						
実践的授業の内容	英語教授と海外での経験を活かし、まずは英語に親しみをおぼえ、英語で表現してみるという姿勢を身に着けることを目指した講義を実施する。						
その他	毎回英作文の提出が課され、評価の対象となるため授業への出席が重要となる。教室内でのスマートフォンやアプリの使用は禁止する。実際に英語で作文してみようとするを通じて英語力や表現力を高めることができるので、授業の課題以外でも英作文をすることが望ましい。						